

# 平成 26 年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

## 【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

## 【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

＝ 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 ＝

## 【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

## 【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

- (1) 現代美術を中心とした美術館として、国内外の水準の高い、又は親しみやすい企画展を開催し、市民に鑑賞機会を提供するとともに、美術の調査研究と地域に根ざした教育普及活動を実施する。
- (2) フロアをゆっくりすごせる空間として開放し、市民が気軽に足を運ぶことができる地域に開かれた親しみやすい美術館を目指す。
- (3) 表現活動を続ける地元の芸術家を応援する美術館として、発表の機械を提供するとともに、市の美術文化を国内外に向けて発信する。

## 【利用料金制度に伴う収入項目】

- (1) 熊本市が展示する美術品等の観覧及び熊本市が行う講演会等の入場料
- (2) 美術館の施設等の使用並びに美術館に保管され、又は展示されている美術品等の特別利用料

**【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】**

**1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える**

**2. アートへの愛情を育てる - 根づく土壌をつくる**

**3. アートで人をつなぐ - アートで都市をデザインする**

**1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える**

(1) 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務〔公2〕

- ① 熊本市の作品収集に伴う予備調査及び報告
- ② 熊本市所蔵作品の管理・保管・貸出等業務
- ③ 美術品の貸出・借入業務委託に関する管理の徹底
- ④ 作品保存等の知識向上を目的とした IPM 研修等の開催
- ⑤ 魅力的な展覧会の企画・開催業務（詳細は（5）記載）〔公1〕

(2) 特別利用の許可、取消、停止命令に関する業務〔公2〕

- ① 美術品等の特別利用許可に関する業務一般

(3) 美術に関する調査及び研究に関する業務〔公2〕

1) 現代美術及び美術館活動に関する調査研究

- ① 展覧会の企画に伴う調査研究
- ② 現代の文化・芸術に関する専門的研究
- ③ 美術館活動に関する専門的研究
- ④ 地元の美術品・作家等に関する調査研究
- ⑤ 文化・芸術と美術館が都市の中で果たすべき役割に関する調査研究

2) 美術館・大学その他研究機関等との情報交換や共同研究の実施及び成果の公表

(4) 借入作品の調査研究及び修復事業〔公2〕

- ① 借入作品の調査研究事業
- ② 借入作品の修復事業等

(5) 展覧会の企画・開催等に関する業務〔公1〕

1) メインギャラリーでの展覧会開催

≪ 目標入場者数：95,000 人 ≫

①	草間彌生 永遠の永遠の永遠
	4月5日(土)～6月15日(日) <目標入場者数：40,000人>
	世界的な前衛芸術家として活躍する草間彌生の最新の創作活動を紹介。 子どものように自由で楽しい想像力に溢れながら、人間の内面世界をえぐり出すような、これまでに見たこともない作品群と、2004年から3年間で一気に描き上げたモノクロの線画作品、『南瓜』などの彫刻やインスタレーション等を展示。 併せて熊本の街なかにも草間による水玉ワールドの展開を計画。

②	水戸岡鋭治からのプレゼント ―まちと人を幸福にするデザイン	
	6月28日(土)～9月15日(月・祝)	<目標入場者数：25,000人>
	J R九州を中心とした鉄道や駅などの公共デザインに取り組んでいる水戸岡鋭治。水戸岡がデザインした超低床電車が2014年に完成することと併せ、市電開業90周年の時期に同展を開催。デザインは人に心地よく過ごしてもらうための技術であるという水戸岡の信念を、熊本市の都市政策のヒントとし、鉄道デザインに留まらず、「より暮らしやすい都市」として、熊本市に必要なデザインとサービスの可能性を探る。	
③	天野喜孝2014 (仮称)	
	9月27日(土)～11月23日(日)	<目標入場者数：12,000人>
	画家、キャラクター・デザイナー、イラストレーターとして国際的に活躍するアーティスト天野喜孝の展覧会。サブカルチャーの作家として認識されがちな天野の作品は、実は豊かな想像力と創造力を兼ね備え、幻想的で妖艶、ダイナミックであると同時に限りなく繊細であり、卓抜な技法に支えられている。様々なメディアを通して高い知名度を確立している天野の日本の公立美術館における初の本格的個展となる。	
④	鉛筆のチカラ―木下晋・吉村芳生 (仮称)	
	12月6日(土)～2月8日(日)	<目標入場者数：7,000人>
	誰でも一度は使ったことのある鉛筆(えんぴつ)。この筆記具が画材として使用されたとき、観る人は、そこに身近さと懐かしさを感じると共に、鉛筆の持つ意外な潜在力の豊かさに驚かされる。本展ではその鉛筆の魅力にとりつかれた木下晋と吉村芳生の作品を通じて、どこにでもある身近な素材が発するエネルギー(チカラ)を紹介する。	
⑤	第26回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	
	2月21日(土)～3月8日(日)	<目標入場者数：4,000人>
	平成元年に始まり、26回目を迎える市民のための美術展。著名なアーティストによる審査と、すべての作品を展示するアンデパンダン形式が特徴。市内在住、勤務、出身の高校生以上の方なら誰でも無料で出品できる展覧会として、市民の文化の創造と発表の場として実施。	
⑥	熊本の華人展 vol.10	
	前期：3月13日(金)～3月15日(日)	<目標入場者数：7,000人>
	後期：3月20日(金)～3月22日(日)	
	熊本で活躍する生け花、21流派による展覧会。流派を越えた文化交流の場であるとともに、現代美術館ならではの企画や展示方法で伝統芸術である生け花を紹介します。	

- 2) 井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催
  - ・熊本出身の洋画家 井手宣通の作品展示 他
- 3) ギャラリーⅢでの展覧会開催
  - ① 熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会
    - ・『こみねゆら展』（仮称）  
（熊本出身の絵本作家、人形作家としても活躍しているこみねゆらの個展）他
  - ② 熊本ならではの文化や歴史の魅力を再発見する展覧会
- 4) エントランス・階段ギャラリー等への作品展示
  - ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示
- 5) 次年度以降開催予定企画展の企画・準備

## **2. アートへの愛情を育てる ー根づく土壌をつくる**

- (1) 講演会、講習会、講座等の企画・開催等に関する業務〔公1〕
  - ① 各展覧会関連講演会
    - ・展覧会のテーマに沿った専門家等を招聘して実施する講演会
  - ② アーティスト・トーク
    - ・展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語るトークショー
  - ③ レクチャー・カレッジ
    - ・展覧会担当学芸員や館長が、開催中の展覧会の見どころやエピソード等について語る講演会
  
- (2) 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務〔公1〕
  - 1) 展覧会の解説書等の作成及び頒布
    - ① 館内アートワーク等解説等
    - ② 展覧会内容解説ワークシート等
  - 2) 展覧会図録等の作成及び頒布
  - 3) 情報誌及び事業報告書等の作成及び頒布〔公3〕
    - ① 美術館情報誌「アートキッスレター」
    - ② 報告書・紀要「アート・ガマダス」 他
  
- (3) 展覧会に関連したイベントの実施コンサートやパフォーマンス〔公1〕
  - ① 美術に限らない表現活動の発表
    - ・コンサート・パフォーマンス等
  - ② 地域活動への協力、地域との協働事業の実施
    - ・ワークショップ等

(4) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務〔公3〕

1) 作品解説

- ① ギャラリーツアー、プレママ&ファミリーツアー等
- ② ワークシート等の作成
- ③ 館内施設等を案内する団体見学（事前申込制）

2) 創作活動等への支援

- ・創作ワークショップ等の実施

3) 子どもを対象とした企画

- ① 体験型ワークショップの実施
- ② 熊本市教育委員会及び市内小中学校との連携
  - ・アートバス事業（市内小学校の1学級～1学年程度）
  - ・出張授業や出張ワークショップの実施
  - ・階段ギャラリーの利活用（作品の展示）
  - ・熊本市造形展 中学校の部の実施
  - ・団体見学 他

4) 人材育成

- ・学芸員実習等の受け入れ

(5) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務〔公2〕

- ① ホームギャラリー等における情報提供
- ② ホームページ、館内における収蔵品情報や美術関連情報の提供

### **3. アートで人をつなぐ –アートで都市をデザインする**

(1) 美術館の管理に関する基本的業務〔共通〕

1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫

- ① 基本的サービスの実施
  - ・利用者の平等な利用の確保
- ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
- ③ 安定した施設管理能力の確保
  - ・職員の資質向上（研修等）
- ④ 来館者アンケート、モニタリングの実施
  - ・利用者ニーズの把握と反映
- ⑤ 市との連絡調整、苦情対応 他

(2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務〔収益〕

アートロフト、会議研修室の使用許可に関する業務一般

(3) 美術館の施設維持管理に関する業務〔共通〕

1) 美術館施設維持管理業務

- ① 設備等日常管理業務
- ② 有人警備業務
- ③ 清掃業務
- ④ 映像、調光、放送設備等保守管理業務
- ⑤ セキュリティ設備・監視カメラ等保守管理業務
- ⑥ 防火・防災対象物定期点検業務
- ⑦ 美術情報システムリース及び保守管理業務
- ⑧ 施設賠償責任保険・ガラス保険の付保
- ⑨ アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務 他

2) 美術館施設修繕等業務

(4) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務〔公3〕

1) ホームギャラリー等における情報提供

2) 広報活動の充実

美術館リーフレット、年間スケジュール等

3) ITCの活用(HP・Twitter・facebook等)

(5) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務〔公3〕

1) 文化活動等の支援

- ① まちなか美術館(すきたい熊本)、河原町アワード等への協力
- ② アートNPOへの後援 等

2) ボランティア活動の支援

図書チェック、布絵本、発送、資料整理、イベント補助、ピアノ演奏等

3) 交流機会の促進

① 街なかのくつろぎ空間

赤ちゃんからお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設(ホームギャラリー、キッズサロン等)の充実

② 文化活動を通じた市民交流の拠点施設

エントランスの利活用

- ・ミュージック・ウェーブ(音楽関係:コンサート)
- ・月曜ロードショー(映画関係)
- ・詩や文学の朗読会(文学関係)
- ・人形劇、紙しばい、読みがたり、子ども向け映画の上映等

③ 中心市街地のにぎわい創出

地域活動への協力、地域との協働事業の実施 他

- ・中心商店街等との連携・協働事業
- ・大学との連携・協働事業

**= 自主事業 - 1 =**

(6) アートによる他分野政策の推進・補完〔公3〕

1) 行政や民間の異分野が持つ課題に対して、アートが発揮する効果や可能性についての調査研究

① 全国アーツセンターの事例報告

② 全国アーツセンターシンポジウム 他

2) 行政や民間の異分野が持つ課題に対する、アートを使った課題解決のための協働事業  
熊本市交通局、シティプロモーション課、開発景観課との連携

・市電開業 90 周年事業、新車両開通への協力

**= 自主事業 - 2 =**

(7) 行政と一体となった文化振興の検証及び外部評価の導入〔公3〕

1) 市の文化政策についての協働検証

2) 外部評価の調査研究

・アートマネジメント実践ゼミへの参加